

第6期 次世代 IoT ワークショップ プロトタイピング講座 (全12回)・
オンライン作品展示・成果発表会 報告

2020年7月4日から9月24日にかけて、「次世代 IoT ワークショップ プロトタイピング講座 (全12回)」を実施した。

講師にはプロトタイピング講座で高い研修実績を誇る岩崎 健一郎氏 (株式会社 H2L 代表取締役社長) の協力を得て実施した。この講座は IoT(Internet of Things)時代には、ソフトウェア技術者であってもハードウェア構造を理解し、ハードウェアを作り出す基礎スキルを修得することが重要であるとの狙いのもと開講されている。参加者は JISA 会員を中心とした8名。全12回のプログラムは下記の通り。

前半	テーマ	後半	テーマ
第1回 (7/4)	プログラミング環境のセットアップ LEDの点滅制御 	第7回 (8/22)	ブレインストーミングで製作する装置を決定 
第2回 (7/11)	回路図と電気用図記号 ブレッドボードを使った回路製作 	第8回 (8/29)	設計と部品調達方法 製作とプログラミング その1 
第3回 (7/18)	スイッチのON/OFFセンシング 色々なセンサによるセンシング 	第9回 (9/5)	製作とプログラミング その2  
第4回 (7/25)	PWM制御とアクチュエータ 	第10回 (9/12)	製作とプログラミング その3  
第5回 (8/8)	半田付けに挑戦してみよう 	第11回 (9/19)	ハードウェアのテストとデバッグ  
第6回 (8/15)	PCやRaspberry Piとの連携 IoTプログラミング 	第12回 (9/26)	作品展示方法(行列ができる展示のコツ) まとめ  

今年で第6期となった本研修は毎年原則として隔週土曜日、月2回の開催ペースでの開催としていたが、今年新型コロナウイルスによる影響を受け、一度延期し、7月から毎週土曜日原則 Zoomにて開催し、講義内容に合わせ適宜オンサイトでの講義を実施することとなった。



Zoomでの作業は講師の手元を画面共有



自主制作期間である後半は密を避けるために Zoom、オンサイトを選択できる解放教室とした

* オンライン作品展示・成果発表会 報告 *

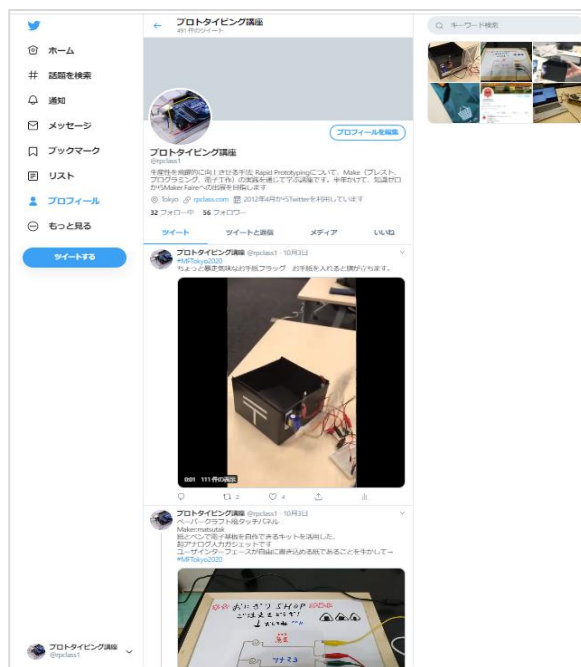
全 12 回の成果の発表と場として、有志の受講者が作品を展示できる「第 6 期 IoT ワークショップオンライン作品展示・成果発表会」を 2020 年 10 月 3 日（土）13 時から 14 時 30 分まで Remo Conference という Web 会議システムを利用し開催した。今回は有志 6 名が参加。オンラインで集まった約 20 名の来場者に向け、出展者はそれぞれ自らの作品の説明を行った。



Remo Conference ではそれぞれの出展者が 1 スペースを保有することができ（上図の黄色枠）、来場者は自由に出展者のスペースをダブルクリックで移動でき、スペースごとにグループでの会話が可能。参加者は順々にスペースを移動し、出展者との交流を楽しんだ。

なお、同日東京ビッグサイトにて開催されていた「MakerFaireTokyo」（主催：O'Reilly Japan）へのオンライン出展として、当講座の Twitter アカウントよりハッシュタグ「#MFTokyo2020」を付け、Twitter 展示も行った。

詳細は会報にて掲載予定。



以上
(會木)